

三十日青林其他委員ト認めテ十数名電気工場樓上ニ集會シ協
議シ午前十一時頃漸ク自己受持作業場ニ就キタルモ時々造船
造機、製鉄ノ各工場ニ同志ヲ訪ヒ勸誘ニ努メタリ
午後四時退場後同志ハ電正會堂式場ニ赴ケリ之ヨリ先チ
愛会神戸聯合會ニ於テ各團體ヲ網羅シテ五個労働大會ヲ開催
スヘク協議シタル趣ナルカ右ハ不日神戸市内各労働團體聯合會
大會ヲ開キ決議ヲナシ團體交渉権確認運動ニ着手スヘク準備行
爲ニシテ一般方略トシテハ賀川、久留兩名委員長トナリ造船労働組
合其他五個團體ノ代表職工数名ヲ選定シ鉄工場百人以上ヲ有スル工
場主ニ向テ交渉ヲ開始シ若シ要求ノ容レラレサルトキハ總同盟罷業
ヲ決行スヘキ手段取ニテ進マント申合フタリトイフ尚電正會員
ノ要求條件ハ後記曰ノ如ク訂正シタルカモ提出期ハ未定ナリ

會社側ノ意見ハ素ヨリ職工要求ニヨリテ賃銀増加其他ノ件ニ付キ議スル考ナク殊ニ
テ二項ノ如キ大問題ハ先以テ會社ノ組織ヲ変更セサレハ到底之ニ應ズル能ハス且ツ松
方社長外遊中ナレハ我等留守居ノ重役ニテ如何トモスル能ハス七月日各部長
又ハ係長ニ命ジテ役付職工ニ其旨口頭ニ達セシメタリト山本重役ハ尚
之ニ附加シテ役令如何ナル方法ニ依リテ要求ヲナストモ會社ハ此際断シテ
府スル能ハス場合ニ依リ工場ノ一部ヲ閉鎖スルヲ辞セサル口吻ヲ淺ン居レリ
本一頁ノ状況ハ電正工作部職工ノ意見業々分濃厚ナルモ何等不續
ノコトナシ

一 労働組合會ノ組織要綱

一 労働組合ノ職工ヲ有スル工場毎大工場ニ在リテハ職場毎ニ労働組合ヲ設ケ後
者ニ於テハ更ニ工場毎ニ聯合會ヲ設ケルコト